

## KAPシステムの特長

### ・ 鉄骨構造物に対する幅広い適用範囲

鉄骨加工をシミュレートする言語（Bone コマンド）を開発することにより、新たな取り合い方法が発生してもこのマクロ言語を駆使し対応可能です。その数は 3000 個を超えます。また新たな材料や既製品についても出来る限り迅速に対応しリリースしています。たとえばスリーブの既製品補強材については、ハイリング、OS リング、フリードーナツ、EG リングと、現在販売されている 4 社ともすでに対応済みです。

### ・ 大型物件への対応性

通常の鉄骨関連 BIM ソフトでは入力と同時にモデル化処理を行うため、大型物件においてはレスポンスに問題が生じるケースが多く、最大処理トン数は数千トンレベルと考えられます。KAP ではモデル化処理をバッチという形態をとるため、入力とモデル化は別処理です。その結果、数万トン級の処理も可能です。

### ・ 各ユーザに対応した多様な出力

出力フォーマットをテンプレート化することにより、プログラムを変更することなく各社各様の出力を得る事ができます。また帳票類については、OpenOffice のマクロを使用することにより、合計欄のセルは数式化されており、行の追加、削除やセル数値の修正に対して動的に対応しています。

### ・ Web アプリケーション

モデル化された工事データは RDBMS に登録され、そのデータを同時に複数の人が Web ブラウザを介して閲覧することができます。Web ブラウザから確認可能な情報は、重量、溶接長、面積、ボルト本数等の文字情報に限らず、一般図や加工図等の 2 次元図面 (SVG)

や3次元モデル（X3D）も含まれます。3Dのモデルに寸法線等のアクセサリを付け加えた「3D詳細図」をAutoCAD-WSのクラウド上にアップロードし、iPadやAndroid端末から閲覧することも可能です。

- ・ **タブレット端末を使用した現場連携**

完成した工作図は紙面に印刷され、製作工場や現場にて利用されています。同じ工作図であっても各部署により利用目的が異なるため、図面に盛り込まれる情報の種類は非常に多く、またその目的ごとに書き込まれる内容を変更し、再度出力しています。このような理由により図面の内容は煩雑を極め、また同じ図面をいくらか変更し何度も出力しています。このような状況を解決する手法として、2D図面にBIMモデルへのリンク情報を付加し、PCやタブレット上に表示された図面に対し、部材をクリックすることにより問い合わせたい情報へのジャンプやその属性情報の確認を行えるシステムを開発しました。